

環境学習推進員の
坂崎 由佳が
担当しました!

活動レポートVol.19

環境・体験講座などのようすを
紹介するゾウ!

環境工房「草木染め」



平成29年①5月13日(土)「草木染め・春」
②9月2日(土)「草木染め・秋」

どんな色が
出るのか楽しみです。



植物の抽出液に浸し中

素材によって染め上がり
が違います。



綿(左:ハンカチ)は素朴さが
出て、シルク(右:ストール)は
華やかに仕上がりました。

素敵な作品が
出来上がりました!



参加者のみなさんの作品(秋)

次回

「草木染め・冬」

ケヤキとヒノキでストールとハンカチを染めます。

日時 平成30年2月3日(土)
13:00~16:00

会場 三重県立熊野古道センター
(尾鷲市向井12-4)

講師 森林インストラクター 奥川 次郎氏

対象 18歳以上の方

募集人数 20人 ※応募多数の場合は抽選

参加費 1,000円(ストール、ハンカチ各1枚)

申込締切日 平成30年1月10日(水)

「環境工房」は身近な自然環境について興味をもってもらえるようなお話を取り入れ、気軽に楽しくご参加いただける講座です。平成29年度の環境工房では、3回の「草木染め」講座を企画しました。今回の活動レポートでは、春と秋に開催した「草木染め」について報告します。

草木染めとは、植物からの天然染料を用いて繊維などを染めることです。植物の葉、枝、茎、根、実などを煮出した液に浸して自然の色素で染めます。

春には、ヨモギとウメを使って綿のハンカチとシルクのストールを染めました。

まずはハンカチに模様をつけるため、ビー玉をくるんだり、割りばしで布をはさんで押さえたりして、オリジナルのデザインを考えま

す。この段階ではまだ模様がわかりません。最後に結んだものをほどこいてみるまで、仕上がりがわからないのでドキドキです。

模様つけの準備ができたなら、あらかじめ大きな鍋で煮出しておいたヨモギとウメの抽出液に浸します。

その後は発色効果や色止め効果のある媒染液に浸します。色を濃くするためには、抽出液と交互に10分程度ずつ2、3回繰り返し浸します。最後に水洗いをして完成です。

染めたストールやいろいろな模様がついたハンカチはどれも素敵で、参加者のみなさんからは「草木染めらしい優しい色が出て嬉しい」「他の植物でも染めてみたい」などの感想がありました。

また、秋に開催した「草木染め」ではイガグリとススキを使い、ヨモギとウメに比べ秋らしく落ち着いた色合いになりました。

はるか昔から世界中で、様々な自然素材の「草木染め」が利用されてきたといわれています。私たちはいろいろな形の自然の恵みによって身体だけでなく心も豊かに生活できていることに気づかされました。環境工房を通じて自然の不思議やおもしろさを体験していただき、この豊かな恩恵を提供してくれる身近な環境の保全について考えてみませんか。

第3回「草木染め・冬」では、ケヤキとヒノキを使用します。お申し込みをお待ちしております。

【報告 環境学習推進員 坂崎 由佳】

環境・体験講座のご案内

水質チェック、買い物ゲーム、大気調査講座、ごみ・リサイクル講座、地球温暖化と省エネルギー講座、ふろしき活用講座、紙すき体験、自然体験(自然観察、バードウォッチング、水生生物調査)、天文講座、エコソング「うたおう&おどろう」など

◎講座の内容や対象については、環境学習情報センター Tel (059)329-2000までお問合せください。お申込みは、希望日の1か月前までをお願いします。